ところざわ倶楽部
第１０期定期総会資料

平成 28 年 11 月 22 日（火）

ミューズ　第 2 展示室（管理棟 5F）

ところざわ倶楽部第１０期定期総会資料
（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）

目　次

1、第９期ところざわ倶楽部総括　P 3

2、第９期活動報告　P 4

　２－１　総務部報告　P 4

　２－２　事業部報告　P 5

　２－３　広報部報告　P 8

　２－４　サークル活動報告　P10

3、第９期会計報告および監査報告　P20

4、第 10 期ところざわ倶楽部活動方針（案）　P21

5、第 10 期役員改選（案）　P22

6、会則の一部改定（案）と細則等改定の報告　P23

　６－１　会則の一部改定（案）　P23

　６－２　細則等改定の報告　P24

7、第 10 期活動計画（案）　P25

　７－１　事業活動計画（案）　P25

　７－２　広報活動計画（案）　P26

8、第 10 期予算（案）　P27

1　第９期ところざわ倶楽部総括

ところざわ倶楽部会長　稲村洋二

第９期ところざわ倶楽部の会員数は２５７名と前年比２８名の減少（入会１９名、退会４７名）いたしました。会員減少の大きな原因は会員数３０名を超えるサークル「公園を楽しむ会」の解散と「地域の自然」の会の解散であります。「公園を楽しむ会」の解散の原因はサークルの代表が決まらず、また理事を引き受ける人もいないということが原因であると聞いています。「地域の自然」は会員数の減少で４名となり結果的に解散となりました。さらに市民大学修了生の入会が例年に比べ少なかったことです。

昨年の総会で第９期活動方針として①倶楽部のあり方を検討する、②１０周年記念事業を企画する、③サークル活動発表会を実施するという３方針を承認いただきました。あり方の検討はあり方検討委員会で６回に亘り議論をし、会則の改定を行いました。

１０周年記念事業につきましては１０周年記念事業検討委員会で２回に亘り検討をし「生涯学習シンポジウム」の開催と「サークル活動１０年の歩み」の出版。さらに朗読音楽劇「ハーメルンの笛吹き男」の公演を決定いたしました。これらの決定事項については総会で審議いただき承認を得た上で来期に実行してまいります。今期初めて実施した「サークル活動発表会」では４サークル（「地域の自然を考える会」、「アジア研究会」、「活きいきシニア福祉の会」、「所沢の自然と農業」）に参加いただきそれぞれの発表内容は地域への貢献という観点から高い評価を得ました。活動発表会の主たる目的はサークルの活動内容をよくしることと、サークル間の交流の促進としましたが、これを端緒として今後サークル間の交流が活発になることを期待しています。

昨年の「会員の満足度調査」では、現在の倶楽部の運営については肯定的な評価をいただきました。しかしながら、市民大学受講生にとっては「倶楽部は敷居が高い」、「会費が２重払いである」、「サークル内の運営はサークル設立当初のメンバーがコントロールしていて入りづらい」、「倶楽部に入ると必ずサークルに入会しなければならない」というような評価があることがわかりました。理事の２３期、２４期の企画委員長からはもっと市民大学にアプローチし倶楽部の情報提供と、入会しやすい倶楽部運営が必要との意見をいただきその後の２３期企画委員とＯＢ３団体との懇談会、受講生への各団体の説明会、閉講時の募集の方法等を工夫し、さらに受講生にサークル活動定例会への参加を呼びかけ、初めての倶楽部のサークル活動発表会にも案内を出し２３期生の参加を促しました。その結果、閉講時の会員募集では倶楽部の部屋は多くの２３期生で大混雑の状況になりました。

各部の年度報告の詳細は各部長からの報告を参照願いますが、特記したいのは事業部では今期初めて倶楽部会員限定の「新春の集い（航空公園彩翔亭）」を開催し、新入会員の歓迎会を開催しました。また、広報部はホームページで情報を迅速かつ的確に会員の皆様に伝える役割を十分はたしていることと、市民大学受講生への説明会での倶楽部のプレゼン

あるいは受講生にホームページにアクセスすることを促すことにより倶楽部の最新情報を得ることが出来倶楽部運営に大きな力となっています。総務部は２つの検討委員会を主宰し結論を得ることができました。

第９期の理事の皆さんには毎月の理事会のあと 13:00~15:00 の時間帯で熱心に倶楽部のあり方、１０周年記念事業について議論していただき結論を得ることができました。あらためてお礼を申し上げます。

2　第９期活動報告

２－１　総務部報告

1. 会員動向

前期末の会員数は２８５名、入会者は１９名、退会者は４７名で、現在の会員数は２５７名である。

2. サークル活動

前期末をもって「公園を楽しむ会」が解散し、本年度５月末に「地域の自然」が退会したので、現在１８のサークルが活動している。

3. 関係団体との連携事業

① ２３期市民大学企画委員会と「OB３団体」交流懇談会に参加。

５月１２日、生涯学習センターの上記交流懇談会に参加した。

② 市民大学２３期生に対するところざわ倶楽部の説明会に参加。

７月２１日、生涯学習センターで行われた上記説明会に参加し、ところざわ倶楽部の紹介と同時に３サークル活動の生の声を各サークル担当者が伝えた。

③ 市民大学２３期生へのサークル説明展示と入会受付。

閉講式の１０月２０日、生涯学習センターの上記説明展示会に行き、ところざわ倶楽部は１６サークルの紹介展示を行い、同時に入会受付を行った。

4. あり方検討委員会の報告

合計６回委員会を開催し審議した。超高齢社会を迎え、生涯学習のあり方も模索したが、結局時間の関係で、現在の課題である入会者増加対策や、会員資格の柔軟対応などに議論を絞り、少人数サークルの理事負担軽減と、サークル活動をしたい一般市民を受け入れるために、会員資格制限を原則扱いとする柔軟対応とする会則改定を理事会に提案し、承認を受けて、総会で審議することとなった。

5. １０周年記念事業委員会の報告

２回の委員会を開催した。①来期５月２９日午前中～午後にかけて、ミューズ・スクエア２F にて、１０周年記念イベント「生涯学習シンポジウム」を開催する。②記念文

集「サークルの歩み」を作成する。③音楽ミュージカル「ハーメルンの笛吹き男」を来期９月１８日にミューズ・マーキーホールで上演する。総会で審議する。

6. **理事会開催** 回数は８月を除き１１回開催し、諸課題を議論し結論を得た。役員会（会長、部長、副部長で構成）は同じく１１回開催した。

7. **第１０期定期総会** １１月２２日開催。

２－２　事業部報告

年間の行事

平成28年　1月　会員限定『　新春の集い　』
平成28年　4月　公開講演会『　世界の動きと日本　』
平成28年　6月　第５回ところざわ倶楽部文化祭
平成28年　7月　公開古典講座『　太平記　』4日間
平成28年　9月　公開講演会『　第1回サークル発表会　』
平成28年11月　第10期　ところざわ倶楽部　総会及び懇親会

平成28年1月29日（金）

所沢航空公園内「彩翔亭」にて、ところざわ倶楽部主催「新春の集い」を開催いたしました。　冷たい雨が降るあいにくの天気でした。参加は40数名（内、新入会員9名)。会員限定の集いであり、講演終了後に「新入会員歓迎会」を彩翔亭でお抹茶を頂きながら懇談を致しました。日本庭園茶室・彩翔亭、雪の残る庭園を眺めながらの伝統芸能。

公開講演会　演目1:『　三味線で端唄、小唄　』　　端唄稲邑流家元　稲邑香乃粋
演目2:『　落語2題　』
・「かぼちゃ屋」　水々亭めだか　（市民大学22期修了生）
・「長屋の花見」　シルバー亭道楽（富岡落語研究会会長）

平成28年4月1日（金）　一般公開講演会　『　世界の動きと日本　』
会場：新所沢公民館ホール　　参加者：81名（一般：12名含む）
講師：茂木　貴（早稲田大学政治経済学部卒　40年以上都立高校教師）
～米国の覇権の後退と中東の混乱、不況に向かう世界経済～
1）東西冷戦(米ソ対立)の期間　　2)「唯一の超大国アメリカ」の期間
3)「テロとの戦争」とリーマンショック4）アメリカの覇権の後退と多様化の現在
イスラムの状況について、中東の不自然な国境が現在のテロ、紛争、戦争となっていた事、歴史と経済の絡み「経済は生きもの」だと感じました。

平成28年6月8日（水）第5回ところざわ倶楽部文化祭（中央公民館ホール、ホワイエ）
～仲間の輪を広げて行こう！～　今年も180名以上の参加者があり、賑やかに開催。

<舞台部門>　「コーラス(楽悠クラブ)」　「所沢の昔(民話の会)」
「シニアダンス(地域デビュー支援の会)」「演奏(とことこバンド)」
「笑いヨガ(学ぼう認知症)」「朗読劇(ドラマチック・カンパニー)」
「太鼓と踊り(懐かしの映画・鑑賞会)」　7演目　総出演数：96名

<展示部門>　展示参加者：31名　写真、絵画、書・水墨画、お面・手芸、生け花
むさし野俳句会　計　49点　サークル活動　5サークル紹介

平成28年6月29日（月）～7月27日(月)
公開古典講座　『　太平記　』(生涯学習推進センター　２０１室)
講師：　川上義正（　元高校教師　）―所沢在住―
（1）6月　29日（月）　応募者：８７名
（2）7月　6日（月）　倶楽部の応募者：７４名
（3）7月13日（月）　一般・市民大学：１３名
（4）7月27日（月）　参加者：８２名
受講費：倶楽部会員1000円　一般　1500円

連続文芸講座は、H25年「現在に生きる松尾芭蕉」講師：川上氏、H26年「人間・正岡子規」講師：栗田氏、H27年「歌舞伎と文楽」講師：近藤氏と続けて来ております。

- 「太平記」とは、南北朝時代の軍記物語である。　作家は未詳であるが、小島法師(1374没)説、玄恵(げんえ、1269～1350)説などが有力。　40巻。
- 鎌倉幕府、北条討伐と後醍醐天皇の建武の中興、足利幕府の設立。
- 足利尊氏、新田義貞、関東武者が活躍、武蔵野が舞台であり小手指が原の戦い、久米川の戦いなどがある、また所沢にも新田義貞の歴史遺産がある。

平成28年9月28日（水曜）
一般公開講演会　『　第1回　サークル発表会　』
会場　：　新所沢公民館ホール　　参加者：72名

◇「地域の自然を考える会」
- ところざわ倶楽部　発足当初からのサークルである。
- 「生涯学習の理念のもと豊かな市民社会の実現を目指し地域に貢献する事」を実践し、楽しみながらの経験を自分への蓄積とする。
- (主な活動)　トトロ12号地の管理　身近な水環境の全国一斉調査

◇「アジア研究会」
- 歴史的、経済的に関係が深いアジアの国々について楽しみながら学ぶ。
- (主な活動)　公開講演会　各種講演会(サークルメンバーや倶楽部会員など)討論会(例：中国と仲良くするには／好きか嫌いか、日韓関係を考える等々)

・留学生との交流会、アジアの文化・音楽・宗教・料理などに関する研究討論

20分の休憩　『トコろん元気百歳体操』

サークル「活きいきシニア福祉の会」会員の生田氏を中心に3名で行った。
この百歳体操は、現在市内に普及活動中で「転倒防止をテーマにストレッチと筋力強化トレーニング」を実施するものです

◇「活きいきシニア福祉の会」

・会員相互の友好と親睦を図ると共に心身の健康増進に努める。
・(主な活動)　高齢者福祉について学習する。
　　高齢者相互扶助の在り方について調査、検討(実践)する。
　　公助・地域福祉について提言する　情報の収集、分析し広報する。
・今後の問題　年齢が高くなり行動範囲が狭くなる、地域の「絆」を大事に

◇「所沢の自然と農業」

・「いつまでも健康で、楽しみながら学び、地域に貢献することで充実したセカンドライフを！」
・(主な活動)
　「里山の保全・再生　～棚山を現代に活かし・未来につなげる～」
　「所沢の農業活性化　～地産地消の促進～」
　「健康づくりと親睦　～体力づくりと脳の活性化～」
　「市民大学ファームの運営」
・高齢化対策として、市民大学新規修了生の勧誘、体力に見合った活動内容の見直し、他のサークルとの連携などにより活動の継続・充実を図ってる。

平成28年11月22日（火曜）

第10回ところざわ倶楽部　総会及び懇親会

会場　：　市民文化センター・ミューズ　管理棟5階ホール
総会　：　開演　午後1時30分～2時10分　　開場　1時00分
　　9期活動報告、9期会計報告、10期役員改選
　　10期活動計画、10期予算
懇親会：　開演　午後2時20分～4時00分
　　コンセプト：『　再び同期会　』～　大いに語ろう　～
　　催しもの・・・『　歌声喫茶　♪～昔の様に大きな声で歌おう‼～　』
　　親睦会、参加費＝1000円　話に花を咲かせ代：お酒とおつまみを用意

２－３　広報部報告

１．本年度の活動

広報部は、総務部・事業部と連携を深め、「広場」「ＨＰ」の２つのメディアで、ところざわ倶楽部各種事業、各サークルの活動報告を中心に編集に取り組んできた。新規シリーズを掲載し紙面は安定し順調に推移してきた。

ＨＰは１月よりリニューアルしスタートした。ところざわ倶楽部が誇るメディア（広場、ＨＰ）として情報の発信を行ってきた。新規企画を掲載し会員からの投稿も増え、アクセス数もかなり増加してきた。

サークル広報委員会議を２回開催し協力体制強化を図った。

１）「広場」の紙面づくり

「広場」は８頁編成で、①倶楽部からの事業告知・報告　②各サークルの活動やＰＲ情報を掲載　③シリーズ編「私の健康法」「川柳」「出会い」「むさし野俳句会」継続、「私にとっての昭和」「新ＨＰシステム紹介」を新規に掲載した。④市民大学との連携を深めるため、「市民大学は今」を掲載した。⑤特別号として、「第９期 新入会員紹介」「第23期市民大学生の皆さんへ！（入会勧誘）」を発行した。また、特別会員の細山俊男社会教育・生涯学習研究所所長、大久保清一郎ロイヤル病院院長、渡辺隆喜明治大学名誉教授より寄稿をいただきました。

広く会員の声が聞こえる紙面づくりが出来たと考えている。

２）「ＨＰ」に高い評価を得た

本年１月より新ＨＰが開設され、新企画を設け多くの情報の発信に努めてきた。

（１）掲載企画

倶楽部の事業計画と報告、各サークルの活動計画と報告、特別会員の先生方からの寄稿文、文化祭特集、広報紙「広場」（第１号から掲載）、サークル一覧表、各種講演会、会員個人からの情報（エッセイ、旅行記、写真、想い出の赴任地他）、トップページ写真集、また、会員が所属する外部サークルの情報チラシ等を掲載してきた。

３）反省と課題

①企画の幅は広がり、特色も出てきたが投稿者がやや偏っていた。

②内容が固いという評価もあり、投稿し易い新規の企画を検討する。

③「広場」「ＨＰ」の情報発信の役割分担を明確にする。

④時代に合った情報の収集と発信について議論を進め、会員の皆様に読んでいただける「広場」「ＨＰ」を目指す。

2．広報紙「広場」の発行

◆年 11 回発行（8 月は休刊）、発行日は原則月初金曜日（ヤマト便、メール配信）

発行部数　480 部（12 月号～5 月号は 380 部）		
会員用	ヤマト便 51 部（会員 41 名、特別会員 10 名）	インターネット配信（会員 217 名　特別会員 13 名）
市民大学用	23・24 期生へ各 100 部（12 月～翌 28 年 5 月は 23 期生のみ）	
一般・会議用資料	229 部（13 公民館、生涯学習推進センター、市役所記者クラブ、家庭新聞、野老澤町造商店、理事会、編集会議、編集長管理分）	

◆28 年度の「広場」記事掲載状況

月 号	発行日	主 な 企 画
12 月号(89 号)	12 月 11 日	第 9 期活動方針・各部活動方針・定期総会報告
1 月号(90 号)	1 月 8 日	「見て聞いて発信して」いく年に・会員限定の新春の集い告知
2 月号(91 号)	2 月 5 日	倶楽部のあり方・10 周年記念事業について・新 HP スタート
3 月号(92 号)	3 月 11 日	公開講演会「世界の動きと日本」告知
4 月号(93 号)	4 月 8 日	第 5 回文化祭開催告知　～仲間の輪を広げて行こう～
5 月号(94 号)	5 月 6 日	第 5 回文化祭　舞台・展示部門決定
6 月号(95 号)	6 月 10 日	公開連続講座「太平記」告知・文化祭報告
7 月号(96 号)	7 月 8 日	第 9 期ところざわ倶楽部の半期を終えて
9 月号(97 号)	9 月 9 日	第 1 回サークル発表会開催告知
10 月号(98 号)	10 月 7 日	第 10 期総会案内と懇親会告知・第 1 回サークル発表会報告
11 月号(99 号)	11 月 10 日	10 期を迎えるところざわ倶楽部・23 期市民大学グループワーク発表会報告

◆「広場」特別号発行

第 9 期新入会員紹介 （2 頁編成、480 部）	2 月 5 日 発行	市民大学 22 期修了生 16 名の皆様 ・自己紹介・所属サークル紹介
第 23 期市民大学の皆さんへ （8 頁編成、150 部）	7 月 8 日 発行	ところざわ倶楽部の目的と活動紹介 ・倶楽部入会へのお誘い ・サークルの作り方 ・入会申込書 ・18 サークル一覧表

◆「広場」新企画掲載

わがサークル自慢・私にとっての昭和・新 HP スタート・サークル活動写真を表紙へ掲載

２－４　サークル活動報告

１．葵の会　　代表：池田新八郎　連絡先：2940-0711　会員数：34名

1.　今年度のテーマ

「葵の会」は発足して７年を経過、文学サークルとして古典文学の学習を中心に能や歌舞伎など古典芸能の鑑賞会を実施してきました。９期は前半随筆文学「方丈記」、９月からはところざわ倶楽部主催（葵の会協力）の文芸講座「太平記」（6・7月 4回開催）の第２部を引き続き学習しています。また「東京文学散歩」、「宮沢賢治の足跡を訪ね長瀞散策」等懇親企画を実施、楽しみながら生涯学習の活動に取り組んでいます。

２．　主な活動実績

●古典「方丈記」の講座（１月～７月　計６回）　講師：小川達雄先生

第１回 ゆく川の流れは、第２回 都遷利〕飢渇、第３回 大地震　世に従えば、第４回 我が過去　方丈の庵、第５回 生涯　勝地は主なれば、第６回 閑居の君　自ら心に問う

●古典文芸講座「太平記　巻3」第２部（９月～12月計４回）講師：川上義正先生

●懇親行事　1月/新年会・総会　3月/狂言鑑賞会（狭山市民会館）4月/東京文学散歩（早稲田・目白・高田馬場）6月/能楽教室・国立能楽堂）8月/文楽DVD鑑賞・暑気払い）10・11月　能楽鑑賞（国立能楽堂　計２回）

３．来年度の目標

本年度は軍記歴史物語「太平記」に挑戦しましたが、源氏物語、平家物語、万葉集、徒然草ほか古典の学習活動が定着してきた。来年度は新しい会員も増えてきましたので、原点に戻り、過去にやった作品も、もう一度取り組んでいきたいと考えています。

2.　アジア研究会　　代表:玉上佳彦　連絡先:090-2497-1076　会員数:20名

① **今年度の方針**　アジア地域における諸問題についての研究報告・討論会、会員による体験談、各種イベント（他サークルとの合同企画も含めて）への参加、会員相互の親睦会などの活動を進める。

② **今年度の活動実績**

・アジアの諸問題について報告・討論会
　最近の中国情勢、チベット問題、蔡英文総統の台湾（日台関係、台中関係）、最近のミャンマー情勢、カンボジアアンコールワット旅行報告など

・高麗郡建郡1300年　高麗神社訪問

・スパイス料理講習会＆試食会

・東京農工大学留学生との交流・懇親会

・暑気払い、忘年会

④ **来年度の方針**　今年度に引き続き、アジア諸国の政治・経済・文化・宗教などについて理解を深め、新しい企画を加えながら、草の根レベルでのアジアの交流・親善をめざしていく。

３．活きいきシニア福祉の会 代表:佐藤重松 連絡先：090-5412-5760 会員数：９名

超高齢社会の渦中で“安心”をどう構築するか！

＝９期活動について＝

市民大学２１期の「福祉」のGWの仲間が、このまま解散するのはモッタイナイよネ。からところざわ倶楽部に一括加入以来、２年が経過。発足１年目は、毎月お互いの無事を確認するような定例会を２年目は、発足時の４つの目的に照らし合わせて、超高齢社会が抱える問題について、調査・学習しながら、同世代への情報提供としての、学習会を２回開催。

元気な高齢者のすぐ明日の問題として共感を頂いた。とりわけ「地域包括ケアシステム」と社会福祉協議会のWITHプランについて、学習の基調とした。

＝１０期活動に向けて＝

誰もが直面する問題のわりには、なかなか”問題の共有”がままならない。

この点について、「自助」はもとより、相互扶助としての「互助」「近助」「共助」について、元気な高齢者の実践参加の試みを、検討しながら、会員の拡大を図る。

1. 高齢者支援課・地域包括センター・社会福祉協議会等学習参加
2. 地域福祉サポーターの拡大
3. 行政区１１地区ごとの身近なネットワークづくり
4. 関連団体との連携を推進

◆ ところざわ倶楽部会員の皆様！ぜひ高齢者福祉について一緒に取り組んで下さい。

4．楽悠クラブ　代表：福田晴男　連絡先：2948-3983　会員数：38名

1．今年度の主なテーマ

月例会として、オペラ、クラシックに加えて、ジャズ、バレエなど、様々なジャンルの音楽を新しく鑑賞演目とし、「頭の体操／クイズを楽しむ」等の要素を入れた時間を設ける。

2．活動報告

2－1．DVD、LDによる鑑賞（月例）　　参加人員　毎回18～27名（見学者を含む）

①　歌劇「イーゴリ公」、「魔笛」、「ローエングリーン」、「ファルスタッフ」

②　マーラー「交響曲第1番」、「オーケストラが奏でる時を超えた物語」、

③「ミラノ・スカラ座フレシュライブシリーズ」、「メトロポリタンオペラ・ガラ 1991」、「バイロイト祝祭劇100年間の足跡をたどる」、世界3大テノール夢の共演 1994

④「ジャズを楽しむ（歴史、多様な演奏）」　⑤　バレエ「くるみ割り人形」

⑥　映画「トスカニーニ～愛と情熱の日々」

2－2．その他の活動

①　月例会開始時における「発声練習＆今月の一曲紹介」

②「あなたのラブリー作曲家を占う」、「頭の体操／クイズを楽しむ」

③　1月新年会、5月文化祭 混声コーラス 発表、8月暑気払い

3．来年度の目標

オペラを主として、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルのものを鑑賞するとともに、音楽講演会や演奏会に参加する。

5．食を通して所沢を知る会　代表：吉田麗　連絡先：2939-9662　会員数：12名

1) 今年度の目標

①「地産地消」をキーワードに所沢および周辺都市の「食」を探求。

②　所沢農産物を使った創作料理による「地産地消料理コンテスト」への挑戦。

2) 活動実績

①　近隣周辺の食材＆料理を食す。(秩父ーいちご、三ヶ島ーぶどう、東松山ーやきとん)

②「地産地消　料理コンテスト」に挑戦。(所沢産の里いも、ほうれん草を使用した「トコろんの野菜たちのココナッツカレー」と「とことこシフォンケーキ」の作品で応募)

③　入間市博物館学芸員による、「栄西禅師とお茶の歴史」を学ぶ。
所沢三ヶ島地区のぶどう農家に成り立ちと現状を聞いた

3) 来年度の目標

①　所沢産の農産物や生産者への関心と現状を学び、理解を深める。

②　今年度同様、「地産地消料理コンテスト」への応募と所沢産の食材と創作料理の発信を継続していく。

６．地域の自然を考える会 代表：海老澤愛之助 連絡先：2922-0259 会員数：11名

①今年度の方針

1　地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に参加する

2　活動を通じ会員相互の理解親睦をはかる

②活動実績

１月　トトロの森１２号地管理作業

２月　トトロの森１２号地管理作業

３月　トトロの森１２号地管理作業

４月　トトロの森１２号地管理作業

５月　竹の子掘り

６月　トトロの森１２号地管理作業

７月　トトロの森１２号地管理作業

８月　室内打ち合わせ

９月　トトロの森１２号地管理作業

１０月　トトロの森１２号地管理作業

③来年度目標

1　地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に寄与する。

2　会員相互の親睦を第一に各自が時間と、体調と、年齢を考え都合の良い時に気楽に参加し活動していく。

3　全国規模の水資源調査に協力する。

７．地球環境に学ぶ　代表：塚本二郎　連絡先：2942-3117　会員数：９名

１．今年度の目標

・倶楽部員を対象にエコ見学会を計画する。

・定例会で話し合った内容、発表、報告事例等を適宜広場、ホームページ等で発信する。

・生ごみ処理方法変革（焼却→メタンガス化）の調査、市への提言のまとめをしたい。

２．活動実績

・エコ見学会は「所沢の自然と農業」サークルと共催で下記の通り実施した。
石坂産業㈱（産業廃棄物中間処理業）の環境学習　2016.3.31（木）午後
参加者３１名（倶楽部員、市民大学受講生等）主な取扱いは建築廃材で、焼却する事なく、リサイクルする実態を見、里山保全にも尽力されている姿勢に感銘をうけた。
これらの感想、写真、記録等についてはホームページを通じ報告ずみ。

・定例会の中で主なもの　「ソーラーシェアリング」の勉強、及び県に対する提言。
1/27「環境講演会」の報告。「関東気候変動適応策セミナー」など

・生ごみ問題については、近隣市町の担当と話し合い各自治体とどう進めるか協議中。

・「北欧の会」と共催で「日本科学未来館」の見学会　5/25　9人

３．来年度の計画

・エコ講演会（一般公開としたい）を計画する。

・定例会で話し合った内容、発表、報告事例等を適宜、広場、ホームページで発信する。

・生ごみ処理方法の変革（焼却→メタンガス化）の調査、各自治体への提言のまとめ。

8．ところ会　代表：居田治　連絡先：2903-8400　会員数；27名

① 今年度の目標

昨年度と同じ目標を掲げ年次総会で会員に諮り、月１回の行事を開催すること及び会員全員のコミュニケーションを図ることを目標と定めて１年間の活動を計画しました。

② 活動実績

平成27年は、初期の目標である月１回の行事が全て予定通り進んでいましたが、今年度もここにきて昨年同様に９月の行事が雨で中止になり誠に残念な結果になりました。また今年も当会の有志による「中山道を歩こう会」の方も順調に進んでおりましたが９月の長雨で２回ほど延期になりましたが、11月中に当初の目標通り熊谷は到着出来る見込みです。

８月の暑気払いは、市内散策と町造商店の三上さんに講演をお願いし、終了後場所を替えて食事・懇親会、会員の手品・ビンゴゲーム等の楽しい企画で、会員の親睦の輪がまた昨年度よりもさらに大きく拡大しました。

③ 来年度の方針

来年度も１月の七福神巡りから始め、４月の花見、８月の暑気払い、11月の年次総会の他、年１～2回のバス旅行を含む月１回の行事を実施するようにしたい。

9．所沢シニア世代地域デビュー支援の会

代表：田口元也　連絡先：2998-1065　会員数：13名

1．サークルの基本的な考え方

＜私たちシニア世代がめざすシニアライフとは＞

① 定年後も健康で豊かな生きがいのある生活

② シニア世代の社会参加による元気なマチづくり

③ 仲間どうしの助け合い・支え合いで健康寿命の延伸

2．これまでの活動＜学習活動・支援活動＞

① 出前講座：コミュニティ推進課・高齢者福祉課・こども支援課・みどり自然課など

② 生涯学習「シニア世代向けシニアライフ講座」開講

③ 地域デビュー「シニア世代　なんでも塾」開講

④ 市民活動支援センターの登録団体として交流活動

⑤ 本会文化祭ステージ部門に「シニア向けチアダンスショー」出演など

（チアダンスサークル「スマイル・パイレーツ」を発足）

3．今後の活動予定

① シニア向けセカンドライフ講座（生涯学習）の紹介

② セカンドライフを高める講演会・活動支援・イベント企画

③ 地域ボランティア団体・サークル紹介との協働　など

10. 所沢の自然と農業 代表：清水仁一 連絡先：2944-8835 会員数：16名

（1）今年度の方針:下記3テーマの活動を企画・実行する。

①里山の保全と再生：落ち葉掃き体験会の開催、くぬぎ山の保全活動参加　等

②所沢農業の活性化：地産地消取組み団体支援、所沢市/農工大連携協定PJT支援　等

③健康づくりと親睦：花見散策、市民大学ファームの会、各種講座への参加　等

（2）活動実績：11月以降は計画

①１月　城地区Y農園の落ち葉掃き体験会の開催（所沢市　農業振興課と共催）

②３月　三芳町石坂産業の里山保全活動の研修会開催

③５月　長野県高山村M農園「りんご花摘みボランティア」＆上田観光

④６月　地産地消促進講演会の開催（ところ産食プロジェクトリーダーに聞く）

⑤７月　市民大学ファーム「夏の収穫祭」

⑥９月　くぬぎ山・駒が原の森の保全活動参加（くぬぎ山地区自然再生協議会主催）

⑦10月　長野県高山村M農園「りんご収穫ボランティア」＆黒姫高原観光

⑧10月　高麗の里散策

⑨11月　市民大学ファーム秋の収穫祭（東京農工大学と共催予定）

⑩12月　くぬぎ山・駒が原の森の保全活動参加（くぬぎ山地区自然再生協議会主催）

（3）来年度の方針

基本は今年度活動を継続とする。

11. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：大山豊 連絡先：2993-0818 会員数：38名

1. 今年度の目標

会則である近現代の所沢に影響を与えた人や物について学び、歴史の現場を訪ね、多くの人々との交流を深める。そして、一人でも多くの会員が参加できる行事とする。

原則月2回の活動として、冬、夏については、室内での座学、体験、懇親会等を主体とする。気候の良い春、秋については歴史を訪ねて室外の活動を主体とする。

2. 主な活動

（室内の活動）・所沢名産「里芋料理、七草粥作り」
・講義・座談会「明治維新と長岡藩」渡辺先生を囲む会
・定例会・懇親会

（室外の活動）・狭山三十三観音巡り⑤　・鎌倉街道を歩く⑤
・富士塚巡り⑥　・トトロの森を歩く
・高麗神社１３００年を訪ねる

3. 来年度の方針

会員の年齢が上がってきたので徐々に座学を増やし、年1回のバス旅行も実現して会員同士の融和を図り楽しい活動をしたい。

12. ドラマティック・カンパニー 代表：佐藤滋 連絡先：090-1540-0161

会員数：10名

1. 今年度の主なテーマ

・月2回の例会を開催して、作曲家の笠松泰洋先生にご指導を頂きながら、シェイクスピアの戯曲を読むと共に、これまでに読んだ作品のなかから作品を選んで、文化祭で上演する。

2. 活動報告

・本年度の例会では「ロミオとジュリエット」、「テンペスト」、「夏の夜の夢」、「間違いの喜劇」（本年10月より）を読んでいる。

・例会では一つの戯曲が読み終わると次回から次の戯曲を読み始めていたが、「夏の夜の夢」読了を機にメンバーからの提案があり、作品のイメージが鮮明に残っている間にもう一度読む箇所と配役を決めて読み、先生からコメントを頂くように、変更した。

・6月の文化祭で、「ウインザーの陽気な女房たち」（喜劇）を上演する事になり、4月末までに全五幕にわたる原作から上演台本を作成し、5月から読み合わせを行う一方、メンバーの意見をとり入れて台本を固め、6月の文化祭で上演した。

3. 来年度の目標

・月2回の例会を開催し、笠松先生のご指導を頂きながらシェイクスピアの戯曲を読む。

・これまでに読んだ作品の中から作品を選んで、ところざわ倶楽部の発表会で上演する。

13. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先:2998-1958 会員数：42名

1メイン・テーマ

誰もがもう一度見たいと思っている懐かしき良き時代の映画を大きなスクリーンで鑑賞、懐かしみ、タイムスリップして、そして笑う。「一笑一若」（ひとつ笑うことで、ひとつ若くなる）上映後、お茶を飲み、お菓子を食べながら、作品について、又当時の想出話しなど話し合い、アットホームな雰囲気でお互いの親睦を深めるサークルです。

2活動報告

○H24年11月サークル発足、本年で4年が経ちます。 延べ上映会 70回＝70作品コメディやラヴストーリー等 今年の上映会は17回であり、参加延人数384名でした。

○上映会の他に日々の忙しさでつい忘れがちな、古き良き日本の伝統文化である行事を上映後に企画して楽しみました、1月：新年の集い まゆ玉飾り。3月：桃の節句や 7月：暑気払い（そうめんパーティー）10月：十三夜の夕べなどイベントの時は女性の皆様の手作り美味しい料理がテーブル狭しと並びます、食事しながら飲みながらお話に盛り上がります。 桃の節句は男性が手打ちうどんで女性を『お・も・て・な・し』。

○また無声映画鑑賞会、活動弁士、七色の声と歯切れの良い語りで、古典サイレント映画の鑑賞を行ないました。（ 2/14、6/4、10/22 3回 川越のスカラ座にて ）

3今後の予定

○11月,年度納め会～総会。 ○H29年:2回／月の上映会と課外上映会への参加を計画。

14. 脳活サークル　代表：加曽利厚雄　連絡先：2939-2308　会員数：19名

1. 活動の目的（目標）

70歳を超えると50%の方がＭＣＩ（軽度認知症）と言われています。脳活サークルは「会員自身が認知症にならない生活」を身に付けることを目的としています。

このために、会員相互の親睦・研鑽（会話を行うこと）を基本として、テクテク（歩くこと、運動すること）、ニコニコ（笑うこと）、カミカミ（よく噛んで食べること）、ドキドキ（ときめくこと）を実践する。

2. 本年度の活動実績：月別の計画はホームページに掲載

＜認知症予防＞

・予防体操：毎月の定例会で実施

・定例化終了後の雑談会：毎月

・「笑いヨガ」の実施：5月、文化祭、12月

・デュアルタスク方式での料理教室：９月薬膳料理

・「回想法」を利用した散策：10月、1月

・「タッピングタッチ」の実施：7月他

・会員による「認知症予防法」の発表：11月など

＜認知症の介護などに関する勉強＞

・認知症全国相談機関との連携、オレンジサロン（認知症カフェ）との連携など

15. 北欧の会　代表：樋口俊夫　連絡先：090-6483-7993　会員数：5名

1、今年度の目標

① アウトドアの活動を行う

② 北欧情報などの持ち寄り学習

③ 北欧関係のDVD観賞

④ 「パンケーキの国で」を読む

2、活動実績

①日本科学未来館見学、「地球環境に学ぶ」と共催で合同見学会を行う。最新のテクノジー、地球環境の未来、宇宙の探求など現在進行形の形で経験、思考できた。（5月）

②ＤＶＤの鑑賞と話し合い「ムンク　自然を貫く叫びの謎」「ホスピタルアートの聖地を行く」「新しいエネルギーを求めて」など。（2月、3月、4月、6月、9月）

③持ちより学習、北欧旅行報告、移民問題など（1月、3月、4月、6月、9月）

④「パンケーキの国で」を読む。「自分にとって必要なもの」など（2月、6月、9月）

3、来年度の方針

① 今年度の活動の継続

② 北欧から学ぶべきものを考える。

16. 傍聴席 代表：髙垣輝雄　連絡先：2926-7164 （正会員17名、賛助会員8名）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

平成28年度活動報告

27.11.20　桑畠健也の講話：市議会議長から議会改革、所沢の現状、行革等について。

27.12.21　学習会：市議会を身近なものに～市議会のイロハと資料の見方・探し方など。

28.01.19　年間学習予定を検討。今感じている課題や、やってみたい学習テーマについて

28.02.15　市議会事務局の出前講座：他市から視察に押し掛ける「所沢市議会基本条例」。

28.03.15　平成28年度、所沢市の施政方針と予算概略から今年の市政を読み解く。

28.04.18　収税課の出前講座：税の収納と滞納の対策について
現状は収納率が県内40市平均を下回り、毎年多額の不納欠損処理を実施。

28.05.16　会員講師による講話：まちの財政を考える切り口。

28.06.20　会員講師による講話：戦時下の全国安全週間実施要領より見えるもの
＆資料を残す大切さ、市の歴史資料や公文書の保存について。

28.07.19　中 毅志氏の講話：市議会議長の信条、まちづくりへの思い、市の現状と課題等。

28.09.20　会員講師による自然史概説。自然史と社会の発展につながる歴史。

28.10.17　所沢市危機管理課の出前講座：市の危機管理について。

毎回13～18人が参加しています。ブログのアクセスは累計14万5000件を超えました。

17. 民話の会　代表：仲山富夫　連絡先：090-3902-0283　会員数：8名

1．今年度の主なテーマ

1）「民話の会」のオリジナルソングができたことから、発信の方法や効果的な演出を考える。

2）語りのレパートリー拡大を図る。
所沢の民話「福猫塚」「弘法の三つ井戸」「河童の侘び証文」「とんぼの宿り木」他

3）児童館、小学校、長生会、倶楽部文化祭に参加し、「民話を語る会」の実施。

2．主な活動

1）所沢市立南小学校3年生（144名）に、所沢の民話他を語った。

2）ディサービス千恵の輪でお話会実施。3）ディサービス真和の森でお話会実施。

4）ひばり児童館でお話会実施。

3．来年度の活動予定

1）児童館、幼稚園、長生会、小学校幼年組、倶楽部文化祭へ積極的に参加し活動を広めていく。

2）所沢の民話にとどまらず、全国の民話を学習し、レパートリー拡大に努める。

3）倶楽部のサークルや外部の人形劇サークルとの共催を進めていく。

4）会員を募り、2チーム以上での語りを目標とする。

18.　歴史散策クラブ　代表：大河原功　連絡先：2943-2004　会員数：26名

①今年度の目標

地域・近郊の歴史・文化などの学びにあっては屋外の活動を中心とし、テーマを決めて散策箇所の選定をする。現地の散策は可能な限り、ボランティアガイドなど活用し学びを深める。また、座学、体験、会社見学などで見聞を広める。

②活動実績

<花をテーマに散策>

２月宝登山と蝋梅、４月塩船観音寺とつつじ、１１月本土寺・戸定邸と紅葉

<遺跡をテーマに散策>

３月赤塚の遺跡を歩く、６月野川の遺跡を歩く、

<水をテーマに散策>

５月見沼代用水と新田開拓、１０月江戸川流域・流山を歩く

<座学・体験・会社見学など>

１月多聞院毘沙門堂で新年の祈祷、９月自衛隊・りっくんランド＆体育学校見学

１０月座学「ところざわの年中行事」(門内氏)、番外・７月鎌倉幕府滅亡と大仏の謎

③来年度の方針

花木草や山川など自然に触れ、その姿や美しさに感動しながら歴史を楽しく学ぶことができたと思っている。方針の検討はこれからだが、次年度もこれを生かしたい。

3　第9期　会計報告および監査報告

（平成27年11月1日～平成28年10月31日）

≪収入の部≫　（単位円）

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	233,624	233,624	0	
会費	560,000	518,000	△42,000	259人X2,000円
会報郵送費	28,000	28,700	700	41人X700円
講座受講料	100,000	88,000	△12,000	連続講座
雑収入	0	14,396	14.396	熊本地震災害募金（6月文化祭時）
	0	81,000	81,000	総会後懇親会会費81人X1,000円
合計金額	921,624	963,720	42,096	

≪支出の部≫　（単位円）

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	190,000	126,000	△64,000	講演会、催事
会場費	160,000	161,070	1,070	総会、講演会、文化祭、理事会、編集会議
	0	66,200	66,200	ミューズ会場費次年度分
振込手数料	10,000	10,430	430	会費・郵送料ゆうちょ振替手数料
会報発行費	35,000	27,503	△7,497	「広場」（用紙代・印刷代・インク代）
会報郵送費	60,000	42,675	△17,325	郵送12回（郵送希望者・特別会員）
通信費	65,000	53,966	△11,034	総会案内はがき、総会資料送料、正副会長連絡事務費
事務費	60,000	54,044	△5,956	事務用消耗品等
サークル補助費	130,000	104,000	△26,000	活動補助費（20サークル）、含文化祭
交通費	6,000	0	△6,000	下見など
保険料	6,000	0	△6,000	野外活動団体傷害保険
雑費	0	14,396	14,396	熊本義援金（日本赤十字社埼玉）
	0	84,673	84,673	総会後懇親会飲食費
予備費	199,624	33,369	△166,255	広報部用ＨＰサーバー使用料・セキュリティ費用
次期繰越金		185,394	185,394	
合計金額	921,624	963,720	42,096	

上記のとおり報告いたします。

平成28年10月31日　総務部 会計　中原幹男 ㊞　曽部康子 ㊞

＜監査報告＞
ところざわ倶楽部（平成27年11月1日～平成28年10月31日）の会計書類について監査を行い、報告書は平成28年10月31日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

平成28年10月31日　会計監査　　田村健一郎　㊞　　小野ちづる　㊞

4　第10期ところざわ倶楽部活動方針（案）

第10期ところざわ倶楽部会長　稲村　洋二

１０期のところざわ倶楽部の活動方針は９期に決めた１０周年記念事業企画の「生涯学習シンポジウム」の開催、「サークルの１０年史」の発行、「ハーメルンの笛吹き男」の公演の３事業を、それぞれ実行委員会を結成してすすめていくことがその中核となります。
３事業を円滑にすすめるためには１０期の理事会のメンバーだけでは到底不可能です。従って実行委員会のメンバーは１０期理事と理事以外の会員の皆様で構成したいと思います。
会員の皆様には是非メンバーとして参加していただき倶楽部全体としてこの事業を成し遂げたいと考えています。

一方、従来から倶楽部が主催していた連続文芸講座、新入会員歓迎の新春の集い、サークル活動発表会については引き続き実施していきます。特に９期で初めて行った「サークル活動発表会」はサークル間の交流をはかる意味で大変有意義であったと考えています。
また、今年この発表会に出席した市民大学受講生は倶楽部のサークル活動がどのようなものかわからなかったが今回の発表会で内容がよくわかったという評価をいただいています。
詳しい活動計画は総務部・事業部・広報部の説明を参照してください。
文化祭については「生涯学習シンポジウム」の開催時期と重なりますので１０期は中止といたします。

倶楽部はサークルで構成されそれぞれが別個に活動しています。そういう点から会員相互の連帯感が薄いという批判がありますが、会員の皆様が一同に会する場所は倶楽部が主催する事業であり、従って主催する事業には会員の皆様が集う場所としての役割があります。主旨をご理解していただき、是非積極的に参加いただきたいと思います。

5　第10期役員改選（案）

No	期	氏名	第10期役職	理事	第9期役職	推薦母体及びサークル
1	18	稲村　洋二	会長	留任	会長	理事会推薦
2	17	石堂　智士	副会長兼総務部長	留任	副会長兼総務部長	傍聴席
3	21	佐藤　重松	副会長兼事業部長	留任	事業部担当理事	活きいきシニア福祉の会
4	14	海老澤愛之助	副会長兼広報部長	留任	広報部担当理事	地域の自然を考える会
5	20	中原　幹男	総務副部長	留任	総務担当理事会計	所沢の自然と農業
6	18	曽部　康子	総務担当理事会計	留任	総務担当理事会計	理事会推薦
7	14	佐藤　美津子	総務部担当理事	新任		民話の会
8	16	大越　理恵	総務部担当理事	新任		葵の会
9	21	内田　滋男	総務部担当理事	新任		歴史散策クラブ
10	17	森野　辰夫	事業部副部長	留任	事業部担当理事	北欧の会
11	18	岡部　まさ子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	ドラマティック・カンパニー
12	18	加藤　敏恭	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	楽悠クラブ
13	18	吉田　麗	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	食を通して所沢を知る会
14	20	安田　好子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	野老澤の歴史をたのしむ会
15	18	髙瀬　成一	事業部担当理事	新任		脳活サークル
16	21	井上　守	事業部担当理事	新任		懐かしの映画・鑑賞会
17	20	玉上　佳彦	広報部副部長	留任	広報部担当理事	アジア研究会
18	14	中島　峯生	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	地球環境に学ぶ
19	22	西郡　貢	広報部担当理事	留任	事業部担当理事	理事会推薦
20	20	池上　幹彦	広報部担当理事	新任		所沢シニア世代地域デビュー支援
	18	田村健一郎	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦
	16	小野　さとえ	会計監査	新任		理事会推薦

退任理事：二上拓夫（副会長兼事業部長）、仲山富夫（副会長兼広報部長）、田口元也（総務部副部長）、宮脇正（総務担当理事）、本橋清子（総務部担当理事）、中村修市（事業部担当理事）、小原修一（事業部担当理事）、当麻実（広報部副部長）、長岡慶一（広報部担当理事）、小野ちづる（会計監査）

6　会則の一部改定（案）と細則等改定の報告

6－1　会則の一部改定（案）

（1）事由

①現会員資格は、市民大学修了生に限る制限を設定している。この制限を緩和して、サークル活動を行い、同時にところざわ倶楽部に入会したい一般市民の入会を可能とするため、第2条（目的）と第5条（会員資格）の条文に「原則として」を追加する改定を行うものとする。

②少人数サークルの理事会出席の負担を軽減するため、第10条（役員の選出と承認）1項の下の号文に「原則として」を追加する改定を行う。

（2）改定案

第2条（目的）

旧項文：「本会は、市民大学を終了した者がところざわ倶楽部を構成し、生涯学習の理念のもと、豊かな市民社会の実現をめざし、地域に貢献することを目的とする」

新項文：「本会は、<u>原則として</u>市民大学を終了した者がところざわ倶楽部を構成し、生涯学習の理念のもと、豊かな市民社会の実現をめざし、地域に貢献することを目的とする」

第5条（会員資格）

旧項文：「本会の会員は、所沢市民大学を終了した者とする」に改定する」

新項文：「本会の会員は、<u>原則として</u>所沢市民大学を終了した者とする」に改定する」

（改定は1項の文のみ、2項の文は改定しない）

第10条（役員の選出と承認）

1項の「役員の選出と承認は、次のとおりとする」は改定しない。

旧号文：「（1）理事は、サークルの代表者（又はこれに準ずる者）及び一般会員の中から理事会の推薦により選出されたものとし、いずれも総会において承認を得るものとする。但し、任期途中で退任した役員の補充は理事会において承認する。」

新号文：「（1）理事は、<u>原則として</u>サークルの代表者（又はこれに準ずる者）及び一般会員の中から理事会の推薦により選出されたものとし、いずれも総会において承認を得るものとする。但し、任期途中で退任した役員の補充は理事会において承認する。」

（改定は1号の文のみ、2号、3号の文は改定しない）

（3）会則改定の手続き

本改定案は、定期総会の承認を得て、第10期より会則改定を実施いたします。

６－２　細則改定等の報告

（１）「会則第２０条による細則」の一部改訂の報告（４月度理事会承認）

４月度理事会にて、緊急動議による細則の一部改定が行われた。改定の趣旨を明確にするとともに、この報告をもって一部改定の正式な文書として記録する。

なお、簡略にするため、改定部分の条文のみを新旧表示して、他の条文は省略する。

①事由

サークル発足後に会員が６人未満となった場合にも、引き続きサークル活動を継続可能とするため、細則の一部改定を行う。

②細則の一部改定について

第４条第２項を次のとおり改訂する。

（旧）サークルは会員６人以上とし、代表者定め理事会の承認を得る。

（新）サークルは原則として会員６人以上とし、代表者定め理事会の承認を得る。

（２）「ところざわ倶楽部運用規定」の一部改定案について（10 月度理事会承認）

10 月度理事会において、上記細則の改定に伴い、活動補助費の改定を要請するもの。

なお、簡略にするため、改定部分の条文のみを新旧表示して、他の条文は省略する。

①事由

会員６人未満の場合に１人当たりの活動補助費の負担を抑えるため。

②運用規定の一部改定について

第３条を次のとおり一部改定する。

（旧）サークルに活動補助費として、次の割合で給付する。

１０名以下：３０００円、１１名～２０名：４０００円、２１名～３０名：５０００円、３１名以上：７０００円

（新）サークルに活動補助費として、次の割合で給付する。ただし、５名以下の場合は、１名当たり５００円を給付する。

１０名以下：３０００円、１１名～２０名：４０００円、２１名～３０名：５０００円、３１名以上：７０００円

（３）細則改定等の実施について

細則改定は、４月度理事会の承認を得て、サークル会員が６名未満となったサークル「地域の自然」に回答しましたが、残念ながら、５月に退会となりました。

また、運用規定の改定に伴う運用は、第 10 期活動補助費の支給から実施します。

7　第10期活動計画（案）

7－1　事業活動計画（案）

1．活動方針

今期も同様におおくの会員を抱えての大所帯となっております。　会員の多くの方々が参加して貰える企画を提案し実施する。

今後とも、会員皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

2．活動計画　（平成28年11月～平成29年10月）

2017年	1月末	「新春の集い」開催　倶楽部会員と新会員歓迎懇親会
	5月末	ところざわ倶楽部10周年記念行事　懇親会
	7月中旬	文芸講座　連続講座　4日間連続講座
	7月末	サークル活動発表会　　4サークルの開催
	9月	ところざわ倶楽部　10周年記念朗読劇「ハーメルンの笛吹き男」
	11月中旬	総会と懇親会

＜　ポイント　＞

公開講座につて

・日本的な会場にて日本文化の再発見　（　三味線の演奏を聴く・落語を聴く　等　）
　街の有名人に聴くお話の会　　　間近に感じての鑑賞会とします。

・特別会員の先生方の掘り起しを行い、講演を依頼する。

・連続講座　有料講座・・・・倶楽部会員と一般聴講者との会費の差別化して実施する。

ところざわ倶楽部　10周年記念行事　及び　朗読劇　開催

・5月行事　　倶楽部の10周年記念行事　＜H29年5月29日(月)＞
　生涯学習シンポジューム　　記念講演
　創立時からの歴代会長によるパネル・ディスカッション　と　懇親会

・9月朗読劇　　ミューズで演劇「「ハーメルンの笛吹き男」　＜H29年9月18日(月・祭日)＞
　ところざわ倶楽部の枠から広く、市民活動へ参加を呼び掛ける記念行事

サークル発表会

・サークル紹介でだけでなく、各サークルの活動内容や状況をサークル会員の皆さんで発表し、倶楽部の方々に改めてサークルを見直し入会の機会を作りたいと考えました。

・発表会の開催を計画する。(　発表：4サークル　　1サークル／40～45分程度　)

７－２　広報活動計画（案）

１．活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

① 学習活動の継続　②会員相互の親睦　③学びを地域に生かす

④ ネットワークづくりを念頭に置き、「広場」「ＨＰ」の編集活動に当たる。

２．編集体制の強化

①編集体制は今まで 14 期～17 期の修了者が中心に行ってきたが、今期は 18 期以降のスタッフにも入っていただき取材活動を行なう。

② 9 期で行っていた広報担当者会議を見直し、理事会へ情報提供と協力を仰ぐことにより理事会と広報部との連携をより深める。

3. 広報紙「広場」

① 従来通り 8 頁編成とし、年 11 回（8 月休刊）発行する。
発行日は理事会開催日前週金曜日とする。

② 新入会員紹介と 24 期市民大学生へ会員勧誘のための特別号を発行する。

編集方針
- 倶楽部からの情報―事業の告知・理事会情報・有益な地域の情報
- サークル情報―各サークルの活動状況、イベントの呼びかけ、交流等
- 会員情報―エッセイ、ボランティア、趣味、旅行記他
- 特別会員の先生からの寄稿―話題性のある原稿依頼、懇親を深めたい。
- 市民大学との情報も取り入れ、連携を深める。
- 紙面が固いという意見があり、面白情報、柔らかい企画も検討する。

4. ホームページ

①28 年 1 月より、ＨＰ担当が代わりました。
新たな取材編集体制を強化する。

③ 倶楽部会員のみならず広く一般の方々に、我々の様々な活動の実態を発信し、コミュニティーの輪を広げ、鮮度のある情報を提供する。

5. 広報部からのお願い

ところざわ倶楽部の事業、サークル活動が円滑に運営出来るよう広報活動に当たります。皆様のご協力をお願い致します。

8　第10期予算　(案)

(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

≪収入の部≫　　(単位円)

項目	10期予算	前9期決算	増減	備考
前期繰越金	185, 394	233, 624	△48, 230	
会費	520, 000	518, 000	2, 000	260人X2, 000円
会報郵送費	28, 000	28, 700	△700	40人X700円
講座受講料	80, 000	88, 000	△8, 000	連続講座
雑収入	0	14, 396	△14. 396	9期熊本地震災害募金
	80, 000	81, 000	△1, 000	総会後懇親会会費80人X1, 000円
合計金額	893, 394	963, 720	△70, 326	

≪支出の部≫　　(単位円)

項目	予算額	前9期決算	増減	備考
講演会講師謝礼	130, 000	126, 000	4, 000	講演会、講座など
会場費	100, 000	161, 070	△61, 070	総会、講演会、講座、理事会、編集会議
	70, 000	66, 200	3, 800	ミューズ会場費次年度分
振込手数料	10, 000	10, 430	△430	会費・郵送料ゆうちょ振替手数料
会報発行費	35, 000	27, 503	7, 497	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	45, 000	42, 675	2, 325	「広場」郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	57, 000	53, 966	3, 034	総会案内はがき、総会資料送料、正副会長連絡事務費
事務費	72, 000	54, 044	17, 956	事務用消耗品等、及びプリンター購入
サークル補助費	75, 000	104, 000	△29, 000	活動補助費(17サークル)、文化祭減
交通費	6, 000	0	6, 000	下見など
保険料	6, 000	0	6, 000	野外活動団体傷害保険
雑費	0	14, 396	△14, 396	9期熊本義援金
	90, 000	84, 673	5, 327	総会後懇親会飲食費
ＨＰ費	34, 000	33, 369	631	広報部用ＨＰサーバー使用料・セキュリティ費用
予備費	163, 394	185, 394	△22, 000	(次期繰越金)
合計金額	893, 394	963, 720	△70, 326	